

普及活動情勢報告（令和3年11月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

ユズ収穫作業のマッチングに向けて！ ～津野山ユズ部会目慣らし会～



作業受委託の取組結果を説明する普及指導員

10月20日、JA高知県津野山営農経済センター輝会議室でユズ目慣らし会が開催され、生産者46人と関係機関の担当者が出席しました。

JAからは、出荷可能な果実について実際に果実を見せながら、収穫する際の注意点等について説明があり、当課からは昨年度実施した作業受委託の試行結果の報告と今年度の取組拡大について説明し、周知しました。

当課は今後もJAと協力して、高齢化によるユズ園の荒廃化を防ぐための労働力確保について検討を行い、ユズ産地の維持に取り組んでいきます。

目指せ！出荷場作業の効率化・省力化 ～『カイゼン』活動を支援～



出荷場を確認する関係者

10月26日、JA土佐くろしお葉山出荷場でショウガの調整・出荷作業を対象にした「カイゼン」活動を実施しました。

カイゼンマイスターやJA土佐くろしお、JA高知県と連携し、出荷場の作業工程・動線の確認を行い、改善点について意見交換をしました。参加者からは「まずは物の要・不要を見極め、整理整頓をするべき」「レイアウトの変更でムダな作業が減りそう」などの意見が出ました。

今後は、11月4日に当課が撮影を行った出荷場内の作業映像をもとに、カイゼンマイスターから作業動線等へのアドバイスをもらい、関係者と連携しながら、本出荷場の作業の効率化・省力化を支援していきます。

データ駆動型農業の取組を推進 ～ミョウガ部会決算総会～



SAWACHI を説明する普及指導員

10月28日、JA土佐くろしお販売課会議室で令和3園芸年度ミョウガ部会決算総会が開催され、27人の生産者が出席しました。

総会では、事務局から過去最高額（67.6億）の市場販売額となったことが報告され、webで取引市場と年末に向けての販売状況等意見交換が行われました。当課からはデータ駆動型農業の「SAWACHI実証ほ場」の取組と、実証ほ場の結果から日射量と生育の関係について説明しました。

当課は今後もJAと協力し、高収量・高品質・省力化を目指したの活用に取り組んでいきます。

農業の栽培管理や経営管理の基礎知識を習得しよう！ ～農業基礎講座の開催～



習熟度を確認しながら説明する普及指導員

10月18日から11月10日の間、須崎総合庁舎で計4回開催した農業基礎講座には、のべ22人の新規就農者等が参加しました。

講座では当課職員が講師となり、病虫害防除、肥培管理、農業簿記及び制度資金等の経営管理に関する基礎的な内容について講義を行いました。

参加者からは「これからの栽培管理に活かしたい」「経営管理についてももっと勉強したい」といった意欲的な声が聞かれました。

当課では、講座の開催に加え、巡回指導や研修会など様々な取組により、今後も若手農業者や新規就農者等の農業経営の安定化を支援していきます。

HACCP に沿った衛生管理を徹底しよう！ ～HACCP による衛生管理の実践に向けた研修会～



熱心に聴講している受講生ら

11月5日、須崎市総合保健福祉センター及びJA津野山営農経済センター輝でHACCP研修会の開催を企画し、直販所出荷者など計25人が参加しました。

須崎福祉保健所から講師を招き、新しい営業許可・届出制度の説明やHACCPに沿った衛生管理をどの様に行うかについて、様式を用いて演習などを行いました。

出席者からは「届出や許可が必要な範囲や衛生管理の方法が分かった」といった声が聞かれました。

当課では今後も関係機関と協力して、対象となる事業者が法令に準拠した衛生管理等が実施できるよう支援していきます。

SAWACHI の本格稼働に向け、IoP プロジェクトを推進 ～キュウリ部会出荷始め総会～



IoPプロジェクトを説明する普及指導員

11月16日、JA土佐くろしお大間出荷場で、キュウリ部会の出荷始め総会が開催され、生産者19人と関係者が出席しました。

会では、令和4園芸年度キュウリ出荷計画及び出荷経費等が承認されました。また、オンラインで出席した4市場関係者から、販売情勢報告があり、出席者からは「コロナ禍でのバイヤーの購買への影響や消費者の動向」「量販店での即売会の実施状況」など、多くの質問が出て活発な意見交換となりました。

当課からは、IoPプロジェクトの概要とSAWACHIの本格稼働に向けた実証試験について説明し、「環境測定装置の価格等について知りたい」といった声が聞かれました。

当課は今後もJAと連携し、本プロジェクトの取組強化を図っていきます。

ハウスシシトウ部会の取組を周知 ～出荷始め総会を開催～



これからの栽培管理を報告

JA土佐くろしおハウスシシトウ部会は、11月17日にJA販売課会議室で出荷始め総会を開催し、29戸の農家が参加しました。

JAからは、令和3～4園芸年度の販売状況や部会の取組に関する状況報告がありました。当課からは、黒枯病や斑点病の発生要因と対策について、また環境制御によるハウス内の温湿度・炭酸ガス濃度の目安となる数値を説明しました。農家からは出荷物の品質や販売方法についての質問や意見がありました。

当課は、今後もJAと連携しながら、厳寒期の管理方法の周知や春先からの株削減による収量抑制技術の検討を行い、部会を支援していきます。